

広報

2020

7

No.186

# なか

ドライブスルー形式で  
自慢の農畜産物をお届け

新しい  
市の指定文化財  
を紹介します。

開 歴史民俗資料館 ☎297・0080

ぼくしよどき  
墨書土器 (下大賀遺跡出土)

…第12号 令和2年3月24日指定

那珂市下大賀鳥井戸中道整備事業に先立ち、平成29年に行われた発掘調査で出土した墨書土器で「倭文田長」と記されていました。この墨書土器が有形文化財考古資料・第12号に指定されました。下大賀遺跡では古墳時代から平安時代の竪穴建物跡や中世から江戸時代にかけての道路状遺構が検出され、墨書土器は道路状遺構の側溝内から出土したもので

す。道路の側溝を掘削する際により古い時期の建物跡や土器などが破壊され、側溝に流入したと考えられます。墨書土器の時期はその成形技法や形状から、9世紀前半(平安時代初期)と推定されています。土器の器種は坏と呼ばれるもので、供膳具として使われました。坏の内面は細い篋で丁寧な磨かれ、とても滑らかになっています。

墨書は土器の胴部に横書きで「倭文田長」と記され、「しどりのたのおさ」と読むことができます。文字の意味は、使っていた人物の役職や身分を表していると考えられています。

下大賀地区は奈良時代に静織の里と呼ばれ、倭文織を生業とする人々が居住し、織物を生産していたと考えられる地域です。倭文の文字は正倉院文書をはじめ、常陸国

の国府があった石岡市・鹿の子C遺跡出土の漆紙文書にも多数認められています。

しかし、下大賀地区から倭文の文字が記された遺物はこれまで出土していませんでした。今回、初めて地元で出土したことになります。これからの調査で出土する可能性はありますが、今のところ、唯一の極めて貴重な資料となる墨書土器だと思われ



◀ 赤外線写真



◀ 実測図

※その他、市の指定文化財については、市ホームページをご覧ください。



戸室 美華さん (21歳) 門部



看護師を目指して勉強も楽しく♪

私は、常磐大学看護学部の3年生で、看護師を目指して日々勉強に励んでいます。講義で学んだことを忘れないように、自分なりに復習して、知識を自分の力にできるように心掛けています。私は楽しく勉強をしたいので、インスタグラムで看護関係の投稿をしているかたを参考にしながら学習しています。インスタグラムで分かりやすい解説を見ることがもちろん、隙間時間でもスマホがあればどこでも見ることができるので、気軽に活用しています。

看護学生として勉強に励みながら、私

は高校生から続けている精肉店でのアルバイトをしています。とても優しい店主や従業員の皆さんのおかげで、学業で忙しくなっても続けさせていただいております。日々感謝をしています。

学業やアルバイトの合間には、趣味のお菓子作りをしています。いろいろなお菓子作りに挑戦しています。最近はおプリンを作りました。家族や友人に喜んで食べてもらえることがうれしいです。

これから、大学3年生で実習や試験勉強など忙しくなりますが、看護師という目標に向かって、頑張りたいと思います。